

令和7年度 タウンミーティング

出席者：町長、副町長、教育長、部次長、全課局長、未来創造係 参加者 59名

令和7年8月2日（土）10時00分～11時30分 日東工業エニスホール

（1）少子高齢化対策について

	ご意見等	回答
1	<p>不妊治療中の方も多いが、野木町は他自治体と比較して保険外のものだけが助成対象である等助成金が少ない。不妊治療の費用をもう少し増やせれば、諦めずに出産までいけるかと思う。また出産祝金も同様に他自治体と比較して少ない。希望としては、保険内外両方から助成金を出してほしい、6回目までは国の保険が適用されるが、7回目から自費になってしまい、採卵から移植までの治療費が自費になってしまって、採卵から移植までの治療費が60万円程度、治療方法によっては、さらに治療費がかかる場合がある。その場合の助成金の金額を検討してほしい、お祝い金に関して、宇都宮市では心拍確認や妊娠8ヶ月段階といった妊娠途中でもお祝い金を支給しているが、野木町でも同様にお願いしたい。</p>	<p>不妊治療については、近隣市町と情報交換しながら検討しているところですが、すぐに給付等は難しいところですが、保険外について保険内につきましても検討させていただきます。またお祝い金につきましても近隣市町を参考にしながら検討しております。政策の一つですのでなくすことは考えておりませんが、増やせるかどうか検討させていただきます。（町民生活部長）</p>
2	<p>野木町の小学生や中学生が町から出て行ってしまふことが少子高齢化の原因だと思う。小中学生が未来も野木町に住み続けるために、野木町のアイデンティティを大事にした政策はあるか。</p>	<p>野木町は一度も合併しないでどこにも頼らない、自主自立の町、町民性があると思います。アイデンティティといえは自主自立で、合併をしないで生き延びてきたことだと思います。（町長）</p>
3	<p>今小学生だが、野木町は遊水地や煉瓦窯があって思い出もたくさんできると思う。生まれる人が少なくてもまた戻って子どもが産みたくなるような思い出がたくさん作れる町になったらいいなと思う。</p>	<p>思い出を語れるように、どこかに行っても戻ってきてくれるような町、ぜひUターンしてもらえよう頑張っていきます。（町長）</p>

(2) 移住定住について

	ご意見等	回答
1	<p>町内には有機農業者が少なく、他から誘致して人数を増やしていかないと、学校給食への供給がままならない状況になる。移住促進の関係では農村部の空き家の掘り起こしを行っていただきたい。他市町で有機給食を取り入れているところは移住者の数が増えており、有機農業者も多い。</p> <p>また脱炭素化の促進や電気自動車等の補助が広報等を通じてあまり町民に伝わってこない。また駆除されているイノシシは廃棄せず、ジビエとして学校給食へ供給したり、貧困家庭へのタンパク質としての配布等に活用できると思う。そういったことが気候危機に対しても有効な一つの手だと思ふと思う。</p>	<p>町ではグリーン農業推進協議会を設立しており、農地付き空家も探しておりますが、見つからない状況です。</p> <p>またイノシシは佐川野、川田地区にも多くみられます。全頭調べたわけではないですが、放射能計測の数値の関係でまだ食するに至っておりません。ジビエを給食に結びつけるような状況になりましたら、皆さんと相談しながら、進めていければと思います。(町長)</p>
2	<p>事業を進めるにおいて大事なものは、長期的な町の財政はどうか、短尺な事業をどう取りまとめて運営していくという戦略的な話である。</p> <p>栃木県での人口未来会議でも少子高齢化と定住移住をまとめ、検討しようとしている。基本の取組みをぜひしっかりやっていただきたい。</p>	<p>町では企業誘致を行い、雇用を生み出し、そこで就業の機会ができるよう努めています。いつまでも町に残っていただけるような町の基盤は戦略的に持っていようと思っています。(町長)</p>
3	<p>高校、大学、専門学校等がないため、町に残らない選択肢の方が多いと思う。また車が必要なので、免許証の取得補助や、車の購入補助等をやってみてはどうかと思う。</p>	<p>免許証を取得するとき、町が補助するような制度や、車の購入時に補助をするような制度は中々難しいところですが、効果について検討するところがあると思います。</p> <p>なお白鷗大学と協定を結びボランティア活動を行っていただき、中学生や小学生の学習指導に入ってもらったりしています。小山南高校がひまわりフェスティバルにおいてボランティアで協力してくださいました。高校・大学との連携を密に辿ってきたいと思っています。(町長)</p>
4	<p>子どもがもう一度町に戻ってくるために、子ども版の町議のようなものを作ること、こども達がまちづくりに参加ができ、まちづくりに係わりたいこども達が増えるのではと考える。</p> <p>地球温暖化の関係では町にある木々を整備したいが、整備している皆様が高齢化してしまっているため、町の皆様が林に入るような仕組みを作っていったらよいと思う。そのために地域通貨をつくり、高齢者や子育て世代のお手伝い等をする、通貨を貰えて使用できる仕組みがあったらいいと思う。</p> <p>また給食を切り口として、有機農業の町が子供たちに浸透すればよいと思う。さまざまなブランドを取り入れ、良いまちにしていこうというイメージ作りも大事だと思う。</p>	<p>町はリサイクルにおいて生ゴミから堆肥まで、全循環型であり、行政や広域でも他市町よりは進んでいると思います。有機農法についても町に先駆者がおりますので、町民の中で有機農法は広がっているとは思っています。</p> <p>なお道路ぎわの平地林については、今年から支援策を講じております。平地林のきちんとした整備や対価を地域に還元できるような仕組みも大変貴重なご意見であると考えております。(町長)</p> <p>平地林危険木伐採等支援補助ですが、現在1件の申請があります。今後さらにホームページや広報等で周知していきます。(都市整備課長)</p>

(3) 自由意見について

	ご意見等	回答
1	<p>教育立町を掲げていただき、子供たちがよりよく育つような環境を、このままぜひ維持していただきたいと思っている。</p> <p>また外国人の方に対する差別等は許されないが、外国人が増えているという現状があり、畑や均した平地を車や重機をおいたヤードとして使用してる可能性がある。その税関係や固定資産税が気になっている。法治国家であるため、日本のルールを周知し、守っていただくようお願いしたい。</p>	<p>ヤードについては法律に違反するようなことがあれば、所管の官庁とも連携し、対応していきたいと考えております。畑や山林をヤードにした場合、固定資産税は雑種地等に変更されます。日本のルールが守られていない場合、日本の文化を理解していただく必要がありますので、企業にお勤めになっている外国人の方は、企業の方にも要請し対応していきたいと考えております（総合政策部長）</p>
2	<p>町で将来のことを見据えて、財源等の中長期的なことを考えてほしい。少子化を食い止めるための政策を本気で考えてほしい。</p> <p>運動公園のドックランはよいが、例えば休憩施設や様々なものを作れば、雇用もできると思う。町には県の施設がないので、子ども病院をぜひ作ってほしい。そこで雇用が増えて少子化から脱却することができたらいい。</p>	<p>ご意見は心に受け止めて進めていきたいと思えます。（政策課長）</p>
3	<p>今の僕たちが町の活性化のために何かできることはありますか。</p>	<p>ジュニアリーダースクラブという、中高生がボランティアで様々な行事に貢献してくれるチームが町にはあります。また毎年学校に伺い、町内の中学2年生のご意見を受けておりますが、町外の学校に行っている方もおりますので今後幅広くお知らせしていきたいと思えます。（町長）</p> <p>小中学生から意見をいただき本当にありがたいと思えます。皆さんにできることはいっぱいあると思えます。僕たちに何ができるか、町に貢献したいという思いとして受け止めたので、町内7校の子どもたちをもっと町の中での活躍させる機会や意見をもらえる機会をこれから沢山作っていきたく強く感じています。（教育長）</p>